

獣医師



北秋田地域振興局
大館福祉環境部 環境指導課
環境・食品衛生班
技師 福田 有希

経歴 採用1年目

H30年 入庁
北秋田地域振興局
大館福祉環境部
環境指導課
環境・食品衛生班

ある日のスケジュール

8:20 出勤(自家用車)
8:30 朝礼、スケジュール確認
8:40 収容犬の飼養管理
9:00 事務作業、電話・来庁者対応
12:00 昼食
13:00 食品営業施設の許可調査へ
16:00 帰庁、日報・報告書作成
17:30 退庁
18:00 買い物
19:00 帰宅
19:30 夕食
21:00 友人と電話

わたしの職場はこんなところですよ

大館福祉環境部は市街地から少し離れた場所にあり、職員は自家用車で通勤しています。「企画福祉課」、「健康・予防課」、「環境指導課」の3課構成で、獣医師は「環境指導課」に配属されます。

約40名の職員がおり、さらに同じ建物内に北児童相談所があるため、様々な職種の方と関わり合える環境です。

年齢層は新卒採用1年目からおよそ60代まで幅広く、同世代も多いです。課を越えて交流が持てる和やかな職場です。

わたしは今、こんな仕事をしています

「環境指導課」の「環境・食品衛生班」に所属しており、環境担当4名、食品担当4名に分かれて業務に取り組んでいます。私は食品担当の一員で、主に食品衛生、生活衛生、動物愛護、狂犬病予防といった業務があります。その中で、私は、飲食店など食品取扱店の営業の許認可に関する相談対応や許可調査、市場に流通する食品が各種の基準等を満たしているか確認するために行う収去検査、逃がしてしまったり保護した犬猫に関する届出の受付などの業務に携わっています。

秋田県のここが好き！

自然の恵みが豊かで、季節の移り変わりを感じやすいところは魅力的だと思います。また、県内に動物園、水族館、博物館、美術館などの施設が充実しているというのも嬉しいところです。

生活環境部の獣医師のやりがいはここ！

食べることは生きるのに不可欠なことです。病原体や異物を体内に取り込むリスクの高い行為でもあります。だからこそ、正しい知識をもって食に関わる方々と接することは食品による事故を防止し、人々の健康を守ることに繋がります。生活衛生や動物に関する業務も、人と身近な動物たちの快適な暮らしに繋がる仕事です。

私たちが真摯に仕事に取り組むことで、県民の皆さんの生活を、危険や心配事の少ない、穏やかなものに近づけることができると考えています。

これまでで特に印象に残っている出来事がありますか？

小学生を対象とした「手洗い教室」の場で、講師として手洗いの大切さについて話をする機会がありました。講義中も実技の時も滲刺とした雰囲気ですべての子供たちの姿が印象に残っています。

終了後の子供たちの感想から、伝えたいことがちゃんと伝わったと分かり、何とも嬉しい気持ちになったことを覚えています。

採用試験の準備はどのようにしましたか？

各県の採用試験の傾向について情報を集めたり、論文試験の対策をしましたが、何より意識していたことは、秋田県職員獣医師の職務について把握すること、将来自分が具体的にどのように秋田に貢献したいのか考えることでした。ただし、県職員の先輩から「とにかく国家試験に合格することが肝心」という助言を頂いたこともあり、卒業および国家試験合格を第一に考えて生活していました。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

獣医師の活躍の場を考えたとき、真っ先に思い浮かぶのは小動物臨床の現場だ、という方は多いのではないのでしょうか。しかし、公務員獣医師の中だけでも、家畜の保健衛生の向上や動物愛護、公衆衛生の向上に寄与する職務など、多様なジャンルの仕事に従事している獣医師がいます。大学で学んできた幅広い内容を生かすことが可能な職場だと思いますので、是非進路の選択肢に加えてみてください。秋田で一緒に頑張ってくれる方をお待ちしています！

獣医師



生活環境部 食肉衛生検査所
精密検査班 技師 平川 真樹

経歴 採用1年目

H30年 入庁
生活環境部 食肉衛生検査所
精密検査班

ある日のスケジュール

- 6:00 起床、
ゲーム
(ログインボーナスチェック)
- 6:30 朝食
- 8:00 出勤(自家用車20分弱)
- 8:00 と畜検査準備
- 8:30 朝礼・朝コミ、メールチェック、
豚のと畜検査
- 10:30 精密検査
(残留動物用医薬品検査)
- 12:00 昼食
- 13:00 豚のと畜検査
- 14:30 精密検査、検査結果集計、
メールチェック、回覧物確認
- 17:15 退庁
- 17:30 買い物
- 18:30 夕食
- 19:00 ゲーム
- 21:30 入浴
- 22:00 ゲーム
- 24:00 就寝

わたしの職場はこんなところですよ

食肉衛生検査所は、鹿角市八幡平の山、川、田に囲まれた自然の多い場所にあります。「管理・業務班」、「精密検査班」の2班体制で、14名が勤務しています。3名が20～30代、その他は40～60代と年齢差はありますが、全く気にせず話しやすい職場です。

主な業務は「と畜検査」で、農場から運ばれてきた豚を食用にできるか1頭1頭検査し、安全な肉のみを流通させる、法律に基づいた重要な仕事です。この「と畜検査」は、在籍している11名の獣医師職全員で行っています。

わたしは今、こんな仕事をしています

主に「と畜検査」を担当しています。「と畜検査」には、生きている状態を検査する「生体検査」、解体された後に行う「内臓検査」、「枝肉検査」があります。これら肉眼による検査の他に精密検査も行いますが、私は理化学検査の担当として、残留動物医薬品(治療に使った抗菌剤など)のモニタリング検査なども行っています。また、病理検査や細菌検査にも加わることがあります。他にも、食鳥検査員として、比内地鶏の検査を行うため食鳥処理場に行くこともあります。

秋田県のここが好き!

白神ねぎ、八竜メロン、ハタハタ、比内地鶏、桃豚、秋田牛など、美味しい食べ物がたくさんあります。また、祭りが多いのも魅力の一つです。私の地元能代では、8月に能代七夕があり、中でも“天空の不夜城”は、城郭型灯籠では日本一の高さを誇る24.1mで、動く灯籠を間近で見ることができます。9月にはおなごりフェスティバルがあり、東北をはじめとした各地の祭りを1度に堪能することができます。

生活環境部の獣医師のやりがいはここ!

「と畜検査」は、自分の判断で食肉になるかどうかが決まる責任重大な仕事ですが、スキルアップが見えやすく達成感が得られます。劇でいう照明や音響のような立ち位置で、直接観客(消費者としての県民)の目に触れることはありませんが、いないと始まらない、食肉が流通しないという裏方を楽しめます。スーパーなどに並ぶ肉を見ると、自分が食の流通の一部に関わっていることを実感できます。

上司や仕事仲間との印象的なエピソードはありますか?

「と畜検査」では、病変部位を検査刀やのこぎりで削除しますが、この処理は手の空いた検査員がすぐに行きます。これを取って手を付けず1、2頭ほど自分用に残してもらったことがあります。判断から処理までの一連を一人で行うことで、自分の力で成し遂げるといった経験ができ、レベルアップにつなげることができました。

オフは何をしていますか?

ほとんどの時間をゲームに費やしている気がします。対戦型のゲームはスポーツとも呼ばれる時代ですので、上を目指せたらいいなど、遊び半分、鍛錬半分のような形で日々楽しんでいます。

採用試験の準備は、どのようにしましたか?

勉強するというよりは自分なりの考えをまとめておくことが大事でした。採用試験は気持ちと伝える力があれば十分なので、国家試験に合格することを最優先に考えてください。

ちなみに、秋田県には獣医学生に対する修学資金の制度がありますので、このページにたどり着いたついでに検索してみてくださいはいかがでしょうか。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言!

周りには県外出身者も多く、出身地は問わずどなたでも受験しやすい環境だと思います。また、受験日程も他自治体と重なることが少ないと思うので、観光・食べ歩きついでに受けてみてはどうでしょうか。